

## 平成 26 年度第 1 回 活用部会議事録（要旨）

1. 日 時 平成 26 年 8 月 4 日（月）

2. 出席委員 毛利部会長、瀧井委員、武本委員、永田委員、鍋島委員、丸野委員  
欠席委員 富田委員、松本委員、松山委員

3. 審議事項

「市民に親しまれる（身近な）熊本城となるための活用等について」

4. 主な意見

（委員）

- ・学校の行事として定着させる。
- ・学校に呼びかけて、子どもボランティアガイドの育成。
- ・熊本城クラブなどを学校で作ってもらう。
- ・市が学校へ出向いて、アピール。
- ・小中学校見学用貸切バスの借上げ。
- ・熊本城の副読本を作成し、小学校へ配布。
- ・先生が、見学で子どもに何を伝えているかを研究。
- ・低学年用・中学年用、高学年用メニューや、テーマ別メニューを作り、先生へ提案。

（事務局）

- ・今後、教育委員会と協議をしていくなかで検討していく。

（委員）

- ・市民に親しまれる（身近な）城となるための入園者数目標は。

（事務局）

- ・現在、市民入園者数を把握することが困難。  
今後予定の 2000 人市民委員会アンケート調査で、動向を掴み具体的な目標値設定を検討。

（委員）

- ・ここでの熊本城とは、有料区域か、あるいは二の丸や奉行丸も含んだものか。

（事務局）

- ・有料区域でなく全体と考える。

（委員）

- ・お城まつりなどで、考えられる催しは殆ど実施されているが、そのなかで、入園者をもっと増やしていくことを検討されるのか。

（事務局）

- ・お城まつりは、観光面が前面に出てくる。市民来園のきっかけとして、お城まつりはあるが、それ以外で足を運んでもらう仕掛けが重要と考える。

5. 総括

主な意見を踏まえたうえで、2000 人市民委員会アンケート集計結果分析により、今後の事業展開を事務局にて検討する。

2 月末にアンケート結果がまとまったので、この内容について、今回事務局から説明する。